★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ **The Future We Want**

Name：林泰地　Age：11才　Date：5/9

私たちの思う通りに環境が変えられるとしたら空気がきれいで緑があふれ昔のような環境を思い浮かべるでしょう。そして、都会のようなよごれた空気でビルなどのコンクリートで固められた世界は想像しないでしょうしかし、現在、だれもが想像しない都会のような環境になってしまっているのです。そして我々の住む地球が危険な状態におちいってしまっているのはだれもがご存じでしょう。だから地球の南極の氷や北極の氷がとけたり世界の土地が砂漠化したり、酸性雨が降ったりして地球が地球が危ない状態にあると教えてくれているのに、この人間達はその信号を無視してきたのです。そんなことをしていていいのでしょうか。ぼくはだめだと思います。資源がなくなってきた今、マイバックというものができました。しかし、せっかくできたマイバックを使わずにいちいち店に来るたびに袋をもらい捨て、またもらい、すて、をくり返しているのです。最低限、もらった袋を使い続けるなどをしてみたらどうです。そんな小さな努力で資限を大切にするということの第一

★★

歩でありつみかさなれば大きなものと成り立つものでもあります。しかしこんな小さいことをしないのです。そしたら努力をしている人の成果も無駄になってしまいます。今、自分さえいい環境にいればそれでいい、未来の人などどうなってもいい、後の人がどうにかしてくれるさ、と思っているようにしか見えません。しかし人にたよっていてはどうにもならないのです。自分がやらなければ意味がないのです。だから未来の人がぼくにはかわいそうに思えてきます。そして、環境を壊し続けているのはだれかしっていますか。私たち人類なのです。そのことをしっかり受けとめていない人はいませんか。きたなくなった環境を戻せるのは、魚類ではなく両生類でもなく、ハ虫類でもなく人間だけなのです。でも今、戻そうとしても無駄です。新しい未来を創り変えていかなくてはいけないのです。そして木をうえたり、水をきれいにしたり、空気をきれいにしたり、さまざまなことをすれば昔と同じような世界が創り上がります。しかし必ずしも気に入るとはかぎりません。なぜならこれはあくまでも擬似自然なのだから。そして地球温暖化をとめるには何が必要だかわかりますか。ぼくはみんなが絶対地球を守ってみせるという強い意志を持ちそれに対して行動すること

だと思います。

これまでたくさんの生き物が犠牲になっています。これらの生き物のバトンを受け取った人類は最後まで走り抜かなければいけないのです。そして今まで犠牲になった生き物のためにも人類はとても大きな責任を背負っているのです。このことを忘れないでおけば地球は救われるでしょう。

あなたがたはどんな未来を好み、どんな未来になってほしいですか。将来の夢を語れるような未来、みんなが楽しく暮らせるような未来、貧富の差がなく自然と共存できる未来、貧しい人も幸せに暮らせるような未来といろいろな未来があります。このまま地球温暖化が進めば、夢をかなえられないかもしれません。大人になった人は職業が決まり夢がかなった人がいるかもしれません。しかし未来の子供、また今の子供も夢はまだかなっていないのです。そんなまま終わってしまう人生楽しいと思いますか。かわいそうだと思いませんか。ぼくは大人になり夢をかなえられるまで、それに次にすべての人が夢をかなえられるまで地球温暖化が進まないように願っています。あなたがた大人はそんなこと考えたことありますか。なかったら考えてみてください。そしたらそんな味気ない人生なんて楽しくないと思うと思います。しかし、本当にそうなってしまうかもしれない

のです。そしてやりたいこともあると思います。例えばタバコ、お酒、パチンコ、とたくさん思いつくと思います。だから地球上の人、全員で地球温暖化を止めなければいけません。地球上に約70億人います。これらの人をみんな同じ気持ちにするのはとても大変です。でもこれのことをみんなに知らせ深く反省すれば地球は守られるでしょう。いつもみんなは考えすぎなのです。反省すればいいのです。でも反省するだけではいけません。行動に移さなければいけないのです。行動に移せば地球は必ず守られます。